

芦屋交響楽団プロフィール

1967年『芦屋ポップスオーケストラ』として発足。1970年『芦屋交響楽団』に改称し、故松島正之助名誉団長の尽力、さらに1977年故芥川也寸志氏を音楽監督に招聘したことにより、現在の『芦響』の礎が築かれる。故芥川氏の「アマチュア音楽は音楽の本道である」の精神に基づき、自立した運営を基盤とする真のアマチュア音楽愛好家集団として熱意あふれる音楽活動を続けており、年2回の定期公演を中心に演奏活動を行っている。音楽作品への意欲的な取り組みや地元での地道な活動が評価され、1986年芦屋市民文化賞、1992年兵庫県教職員組合芸術文化奨励賞、1997年アマチュア団体初の兵庫県芸術奨励賞を受賞のほか、2010年芦屋市市政功労者として表彰される。

演奏会のお知らせ：芦屋交響楽団第92回定期演奏会 2019年11月9日(土)・第93回定期演奏会 2020年5月17日(日)
(場所)兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

甲南女子大学と芦屋交響楽団との提携活動

本学は、「地域に開かれた大学」を目指し、大学と地域、双方の繋がりを重視した地域貢献活動を実践しています。一例として、地域住民を対象とした公開講座やチャリティーコンサートの開催、地域の商店街や婦人会と連携する地域交流・地域活性化プログラムへも積極的に参加しています。地域貢献活動の一環として2010年3月に芦屋交響楽団と、それぞれの保有する資源利用に関して協力体制を推進する提携活動の協定を締結しました。現在、地域社会の芸術文化活動支援を目的に、本学は芦原講堂を練習場として開放し、一方で芦屋交響楽団には大学行事をはじめ、大学が推進する社会貢献活動にご協力いただいています。

～募金は、あしなが育英会へ 「あしなが東日本大震災遺児支援募金」として寄付いたします～

本学は、阪神・淡路大震災を経験した神戸にキャンパスを構える大学として、継続的に被災地支援活動に取り組んでいきたいと考えております。支援活動の一環として、2012年度よりシリーズでチャリティーイベントを開催し、これまでにご協力いただいたご寄付の総額は、6,654,518円となりました。本コンサートの募金は「あしなが東日本大震災遺児支援募金」(心のケアプログラム、交流活動、キャリア支援など)へ寄付いたします。皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

芦原講堂とパイプオルガン ～阪神・淡路大震災復興のシンボル～



芦原講堂は、モダニズム建築で高名な故・村野藤吾氏によって、学園創立70周年を記念して建築されました。大学全体の景観との調和を考慮してデザインされたこの建物は、六甲山の緑を背景に半地下式の鋼板葺屋根をもち、1990年、第6回神戸市建築文化賞を受賞しています。また、1,784席の音楽ホールとして最高レベルの設備を整えており、優れた音響効果があります。パイプオルガンは、デンマーク・マルクッセン社製のもので、パイプ総数は4,357本となり西日本最

大級の規模を誇ります。1995年の阪神・淡路大震災発生時に全壊した後、1998年に復旧したパイプオルガンは、本学における阪神・淡路大震災からの復興のシンボルといえます。



申込方法 ～事前にお申し込みが必要です～

本学ホームページ **イベント告知**、または、往復ハガキのいずれかにてお申し込みください。当日は、受付完了画面等の提示、もしくは返信ハガキが入場チケットとなりますので、必ずご持参ください。

携帯電話、スマートフォンをお持ちの方は、
右のQRコードからお申し込みいただけます。



《往復ハガキでの申し込み方法》

往復ハガキの往信面に以下の項目AとB、返信面に返信先住所、宛名を全て記入の上、お申し込みください。

A. 入場希望者情報 (全員分)

①人数 ②名前・年齢(学年)

※名前・年齢は、人数がわかるよう、一人ずつお書きください。

B. 代表者情報

①名前(ふりがな) ②郵便番号 ③住所 ④電話番号

⑤コンサートを知ったきっかけ

〈宛先〉

甲南女子大学 对外協力センター 社会貢献課
〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23

【申込期間】11月11日(月)～12月18日(水)

※先着順により入場者を決定します。※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。

※お体の不自由な方は、お席をご用意いたしますので、事前にご連絡ください。

※個人情報、当センターにて厳重に管理し、当行事のご案内以外には一切使用しません。

スクールバスをご利用ください

- 阪神津山駅から北へ・阪急四本駅から南へ進み、山手幹線沿いを東へ徒歩約5分。
- 学内に駐車場・駐輪場は、ありません。
- 当日食堂は、一般営業していません。



スクールバスダイヤ

- 本山発 13:00～14:30 最終
- 大学発 終演後随時発車

※上記時間帯において満車になり次発発車します。

※状況に応じて予告なくダイヤを変更することがあります。